

城下まちづくり 通信

創刊号

事務所

上田市諏訪形 JA城下店

0268-75-0152

城下まちづくり未来会議が発足

さる 6 月 17 日 (土)、城下地区防災センターにおいて「城下まちづくり未来会議」設立総会が開催され、約 80 名の代議員の出席により新しい住民自治組織が誕生しました。設立総会では、城下地区の住民が住み慣れた地域で元気に暮らし続けるための「城下まちづくり未来会議」の設立趣旨について提案のあと、来賓としてお迎



えした上田市長ほかの皆さんからお祝いの言葉をいただきました。総会議長には御所の沓掛勝也さんを選出し、規約・役員・事業計画・予算について審議の上決定しました。初代会長には平成 28 年度城下地区自治会連合会会長を務めた小牧の北沢隆士さんが選出されました。

上田市における住民自治組織

市は、人口減や少子高齢化などで単一自治会では解決できない課題が今後増えるとし、まちづくり団体などを交えて対応する手段として住民自治組織を提案。市の付属機関「城南地域協議会」などの地域協議会を通じて住民自治組織設立に向けて論議を進めてきました。その結果、2015 年度から川西・丸子・神科・豊殿・武石地区で組織され、2017 年度には川辺泉田・塩田・城下・真田地区で設立されました。今後西部・上田中央地区で設立を予定されています。


ごあいさつ
会 長 北 沢 隆 士

残暑厳しき折、日頃から皆様には城下地域のまちづくりについて並々ならぬご理解を賜り、心から感謝いたしております。

城下地域では早い段階から上田市が掲げるプロジェクト「市民が主役のまちづくり計画」を先取りすべく、社会福祉協議会、防犯・防災協議会、まちづくり協議会を立ち上げ、自治会連合会と連携を取りつつ活動を積み上げて参りました。この度「城下まちづくり未来会議」として市から一定の財政支援を受けることにより、将来の地域内分権の確立に向けて一歩踏み出すこととなりました。

今後は地域の個性や特性が活かされ、地域力が発揮されるまちづくりを目指して微力ではありますが全力で取り組んで参りたいと考えております。

社会福祉協議会

会長 増澤 吉雄

城下地区社会福祉協議会は平成 23 年 6 月に上田市社会福祉協議会の一組織として設立され、城下地区自治連、民生児童委員会、福祉推進委員会と連携を図りつつ、地域の福祉課題を持ち寄り、その課題解決において取り組んできました。

城下まちづくり未来会議の構成団体となった今年度は新規事業として、『あいさつ・声かけ運動』の推進を図ります。

活動趣旨

少子・高齢化、核家族化の進行、情報化の進展等に伴って、人と人とのつながりが希薄になり、家庭や地域の教育力が低下する中で、社会の安全性が損なわれる要因ともなっています。

このため「あいさつ・声かけ運動」の推進を通じて、城下地区の連帯感と絆を強め、思いやりの心を醸成すると共に、豊かな人間関係を育み、明るく安全で住みよいまちづくりを推進して参ります。

「あいさつ・声かけ運動」を取り組むにあたり、先頃 8 月 3 日に本件についての先進地、長野市若槻地区の住民自治協議会「コミュニティわかつき」さんへ視察に行って来ました。【写真】

長野市では平成 22 年度から全域で住民自治組織が立ち上がり、中でも多角的に取り組んでいる同地区の運動を参考に中長期計画を立てて取り組んで参ります。



今年度はあいさつ運動推進のための講演会を秋に開催し、標語の看板を作成して 9 自治会に各 1 枚程度設置。また長野一上田線三好町歩道橋に横断幕を設置、啓発運動を行って参りたいと考えております。

防犯・防災協議会

会長 小坂井 正明

城下地区防犯・防災協議会は平成 23 年 10 月に設立され、翌年 24 年 10 月には城下地区住民約 1,600 人が参加して、第 1 回城下地区自治会の防災訓練が実施されました。

また、他地区に先駆けて「城下地区避難場所運営マニュアル」検討会を立ち上げて平成 25 年度に完成し、「城下地区避難場所運営図上訓練」を実施しました。

また同年新潟県中越地震被災地や、平成 27 年には南木曾町土石流災害現場の視察をしてきました。

山の風倒木や木々が周辺の土砂とともに流され、下流にある家等をなぎ倒し被害を甚大にする側面があることを知りました。

そこで平成28年度には初めて「減災目的訓練」として金窓寺川、御所沢の2会場に別れて、倒れたままになっている木々等を伐採して取り除く訓練を実施しました。

城下まちづくり未来会議の構成団体のひとつとなった今年度は新規事業として、『**城下地区の防災マップ**』を作ります。

城下地区の災害の歴史や想定される災害及び危険箇所・避難場所等を把握し冊子にします。

去る7月13日に役員が先進地である下諏訪町へ行き、町危機管理室職員から作成要領等の研修を受けてきました。【写真】

今後住民懇談会や行政による講習会を開催しながら理解を深めて参ります。



まちづくり協議会

会長 小野沢 義和

城下地区まちづくり協議会は平成24年6月に設立され、平成24年以降、毎年城下地区内の課題等を取りまとめて行政等へ要望書を提出してきました。

毎年度着実に前進が見られ、既に完了した箇所、事業計画策定中、計画検討中等の回答があり、関係者からも高い評価をいただいております。

城下まちづくり未来会議の構成団体となった本年度も、安全で安心な地域づくりを目指して、ハード・ソフト両面で順次活動内容の充実を図って参ります。

なお事務局として活動を推進してきた2案件について、

◆ 東山城下地区メガソーラー設置反対期成同盟会

平成29年4月1日、上田市による「太陽光発電施設の適正導入ガイドライン」の策定・公表で当該計画地が一定の制約を受けることとなり、今後の業者側の動向を注視して参ります。

◆ JRアスベスト健康被害対策委員会

昨年12月から取り組んできた本課題は、7月14日にJR長野支社、第一建設工業㈱、ワールド重機開発㈱を相手に第3回目の地元説明会を開催してきましたが、本年11月を目途に文書による取りまとめの方向で折衝を進めて参ります。

役員一覧

(敬称略) (委員は五十音順)

No	役職名	氏名	自治会	No	役職名	氏名	自治会
1	会長	北沢 隆士	小 牧	12	委員	竹内 久子	朝日ヶ丘
2	副会長	沓掛 勝也	御 所	13	委員	手塚 博明	須 川
3	副会長	中澤 徳男	千曲町	14	委員	西澤 誠	中之条
4	会計	今井 洋幸	諏訪形	15	委員	増澤 吉雄	中 村
5	事務局長	田玉 利貞	御 所	16	委員	柳澤 政次	千曲町
6	委員	有賀 邦夫	朝日ヶ丘	17	委員	渡辺 侑司	御 所
7	委員	飯島 誠	中之条	18	監事	西沢 俊郎	中之条
8	委員	稲垣 敦史	諏訪形	19	監事	柳沢登美男	中 村
9	委員	上野 和利	須 川	20	顧問	小坂井二郎	中之条
10	委員	小野澤義和	中 村	21	顧問	宮下 省二	諏訪形
11	委員	小坂井正明	御 所	22	事務局	山崎 洋子	

7月19日 第1回役員会を開催

今後の取り組みについて確認

6月の設立総会発足後、JA信州うえだ上田西支所城下店の2階の1室を利用できる環境が整ったことにより、第1回役員会を2階の大会議室で初めて顔合わせ会を開催しました。

役員の自己紹介に続いて、3協議会会長から今後の具体的な施策の取り組みについて、説明を受けました。



今後の具体的な施策の取り組み

- ◆ 社会福祉協議会からは少子高齢化が進む中、地域では人と人とのつながりが希薄になりがちで、老いも若きも「あいさつ・声かけ」の推進により、城下地区の連帯感と絆を深めたいと提案。
- ◆ 防犯・防災協議会からは小牧山、東山の沢筋の災害対策に合わせ下流地区の住宅地内を流れる水路でも増水による床下、床上浸水などの過去の歴史や、今後想定される災害及び危険箇所・避難場所等を把握した「防災マップ」を作りたい。
- ◆ まちづくり協議会からは例年のごとく各自治会から要望の出された案件を集約し6月17日に一括、市・県・国等へ要望書を提出した。今後10月12日に市・県から説明を受け、11月16日に結果を回覧配布する予定。

と、説明を受け、委員からは社会福祉関係の取り組みを強化してほしい、例えば高齢者対策等に対する各自治会が取り組むべき指針となるような指導、講習会等について要望が出された。

(事務局)